

令和4年10月31日

太田市議会議長

岩崎 喜久雄 様

太田クラブ 代表 白石 さと子

会派行政視察報告書

- 1 期日 令和4年10月13日(木)から10月14日(金)までの2日間
- 2 視察地 長崎市(第84回 全国都市問題会議)
- 3 視察事項 (1) 長崎県長崎市
① 第84回 全国都市問題会議
- 4 参加者 11名
白石さと子 山田 隆史 木村 康夫 町田 正行
斎藤 光男 正田 恭子 渡辺謙一郎 大川 敬道
中村 和正 木村 浩明 神谷 大輔
- 5 視察概要 別紙のとおり

全国都市問題会議

個性を活かして「選ばれる」まちづくり～何度も訪れたい場所になるために

〈10月13日（木）〉

○基調講演

「民間主導の地域創生の重要性」

株式会社ジャパネットホールディングス代表取締役兼 CEO 高田 旭人 氏

○主報告

「長崎市の魅力あるまちづくり」

長崎県長崎市長 田上 富久 氏

○一般報告

「地域との新しい関わり方・関係人口」

島根県立地域政策学部准教授 田中 輝美 氏

○一般報告

「ビジョンを活かしたまちづくり～「選ばれる山形市」を目指して」

山形県山形市長 佐藤 孝弘 氏

○一般報告

「交流の産業化」を支える景観まちづくり～長崎市景観専門監の取り組み」

一般社団法人地域力創造デザインセンター代表理事 高尾 忠志 氏

〈10月14日（金）〉

パネルディスカッション

パネリスト：東京都立大学法学部教授 大杉 覚 氏

ゆとり研究所所長 野口 智子 氏

山梨大学生命環境学部地域社会システム学科教授 田中 敦 氏

NPO法人長崎コンプラドール理事長 桐野 耕一 氏

岐阜県高山市長 都竹 淳也 氏

兵庫県伊丹市長 藤原 保幸 氏

(1) 所感

太田市においても、「スポーツを通じたまちづくり」の取り組みを通じて、交流人口の獲得を目指しており、本会議の主題については、本市の今後の施策にも参考にすべき内容に富んでいたといえる。

ジャパネットホールディングス代表取締役兼 CEO の高田 旭人氏による基調講演と、その後の、田上 富久長崎市長による主報告は、連動しており、いずれも、民間の参画によるまちづくりと交流の在り方について一貫性があり、ジャパネット社と長崎市による連携による方向性の共有が示されているものであった。

高田氏からは、ジャパネット社が、プロサッカークラブ「V・ファーレン長崎」の運営を始めたことを契機に、同社の主力事業である通信販売業において、培ってきた商品を「見つける」「磨く」「伝える」を、まちづくりに活かすという方向性を打ち出し、現在、長崎駅前にスタジアム・アリーナや商業施設、ホテル等で構成するまちづくり「長崎スタジアムプロジェクト」を進めており、これまでの経緯と、今後の展開を話された。とりわけ、これまでの経緯において、自社内の働き方改革を断行し、就業時間を抑え、社員の作業効率の向上を図り、アイデアの創出につなげたことを強調されており、まちづくりに参画する、あるべき企業像については、行政側にとって、見極めるべきであると考えられた。

田上市長からは、「発見」である「みつける」・「認知」である「きづく」・「向上・付加」である「みがく」・「創造」である「うみだす」の4つの視点を通じて、「価値」を導き出す取り組みについて話されており、空き家・空地を若者の交流の場に変えたことで、「地域課題の資源化」が図られたとの事例や、埋もれた魅力の発掘の手法をまち歩きととらえ、「まち歩き」を観光化した「長崎さるく」の事業について紹介された。

両氏の講演・報告を通して、両者の方向性の共有が強く示され、民間企業との連携による「スポーツを通じたまちづくり」を進める本市においても、発信力・展開力を有する民間の利点をひきだし、まちづくりに参画する民間企業と方向性を一つにしていくことの重要性を認識でき、今後の調査研究に活かしたいと考える。

